

一般会計決算

常任委員会からの要望指摘事項 (一部要約)

総務経済委員会

- 1 障害者の雇用に当たっては、障害の種別を限定することなく、募集及び採用をするよう図られたい。
- 2 振り込め詐欺等の被害を防ぐため、関係団体とも協力し、効果的な対策に取り組まれたい。
- 3 消防団の車庫の更新については、埼玉西部消防組合負担金精算返還金を活用するなどの方法を検討し、早急な対応を図るとともに、女性を含む消防団の活動しやすい環境の整備に取り組まれたい。

文教厚生委員会

- 1 障害者の法定雇用率遵守の観点から、定着率向上に向けた就労相談体制充実のため、支援員の拡大と予算措置を図られたい。
- 2 児童虐待の未然防止・早期発見のため、さまざまな相談に適切に対応し、関連する組織と連携強化が行われるよう、人員確保及び予算

措置を図られたい。

建設環境委員会

- 3 待機児童の解消に向け、第2期の子ども・子育て支援事業計画の策定に当たっては、女性の就業率の伸びなども十分加味し、定員に余裕のある計画とされたい。
- 4 奨学金貸与に当たっては、希望する方が十分に利用できるよう、状況を把握し、必要に応じて要綱の見直しなどを検討されたい。
- 1 資源物集団回収促進事業については、集団回収事業奨励補助金を増額し、リサイクルの推進に努められたい。
- 2 地球温暖化対策事業については、公共施設のLED化や太陽光発電の導入により、さらなる温室効果ガスの削減に取り組まれたい。
- 3 降雨降雪及び溢水対策については、予算の増額を含め、対策の強化を図られたい。
- 4 狭山市駅加佐志線については、東京狭山線の接続部からも整備をされたい。



◆教育◆

Q 奨学金貸与事業で、新規に貸与を受けた人数が減った要因は。

A 補助金交付要綱の改正により、新たに所得要件と成績要件を追加したが、特に所得要件の追加が大きな要因と考える。

Q 今後の旧狭山台幼稚園跡地利用の方向性は。

A 解体、除却、売却の方向で決定していたが、狭山台南保育所の仮園舎利用後も、子育て関連の施設に利用してもらいたいとの地域住民からの要望を踏まえ、関係課と調整しながら、見直しを検討している。

◆請願の要旨

同性同士を含めたパートナーシップの承認制度(仮称)の創設に向け、その存在を公に認める方策をとることにより、狭山市を性的少数者にとっても住みやすい、多様性を認められる魅力ある都市にして頂きたい、制度導入に向けた協議を開始してください。

そのことが性的少数者への理解の促進、差別の解消につながり、性的少数者を含めた、誰もが自分らしく生きられる社会が実現することになると考えています。

◆請願

◆狭山市におけるパートナーシップの公的認証と性的少数者に関する諸問題への取り組みに関する請願

請願者 1名

《総員賛成で採択》

採決の結果

平成30年第3回定例会では、市長提出議案28議案を審議し、採決の結果、すべて可決・同意・認定しました。

賛否が分かれた議案

○…賛成、×…反対、退…退席、討…討論者、議長は採決には参加しません

議案番号	議案名	創政会				公明党			創造			日本共産党		新政みらい		はつづらん		無所属				
		千葉	笹本	三浦	田村	綿貫	加賀谷	齋藤	磯野	西塚	金子	矢野	町田	望月	大沢	猪股	土方	内藤	中村	大島	太田	高橋
75	心身障害者医療費支給条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
79	30年度狭山市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
84	入曽地区地域交流施設(仮称)新築工事(建築)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○
85	入曽地区地域交流施設(仮称)新築工事(電気設備)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○
90	29年度一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
91	29年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
93	29年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
94	29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○

全員が賛成した議案

人事公平委員会委員の選任(齊藤雅義氏)、人権擁護委員候補者の推薦(羽田伸子氏) 条例の一部改正 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、学童保育室条例、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例、地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例、建築基準法等関係事務手数料条例 特別会計補正予算 国民健康保険(第1号)、狭山市駅東口土地区画整理事業(第1号)、介護保険(第1号)、後期高齢者医療(第1号) その他会計の決算認定 狭山市駅東口土地区画整理事業、水道、下水道 事業会計の未処分利益剰余金の処分 水道、下水道 その他市道路線の廃止、認定(4議案)

討論

議案に賛成・反対します

平成29年度 一般会計歳入歳出決算認定



賛成討論(要旨)

各施策を着実に推進しつつも、事業規模にとらわれず多種多様な新たな試みに挑戦し、自治体間競争を勝ち抜ける広報力と企画力を着実に付けてきた。

▶実質単年度収支は約6億2,000万円の黒字、今後も各種基金の適正な管理及び有効活用を図り、安定した財政運営を期待する ▶市税全体では前年度比約2億9,000万円の増、市税収納率は96.2%と高く評価 ▶民間保育所や認定こども園、小規模保育事業者などに対し財政的な支援を行い、待機児童の減少に努めた ▶防災行政無線のデジタル化工事に着手し、防災機能の充実強化を行った ▶すべての小中学校でエアコン設置が完了、さらに、小中学校校舎のトイレの洋式化工事に着手し、学校がより快適になった ▶富士見小第1・第2学童保育室の改修などが行われ、学童保育室の待機児童解消に向けた定員枠拡大のための取り組みが進められている

反対討論(要旨)

○「事業の選択と集中」という名の事業の縮小は、市民サービスのカットを意味し、市民の福祉の向上に寄与するとは思えない。

○地方自治の本旨である「住民の福祉の向上」に向け、以下の点について改善を求める。

▶差し押さえ件数が倍増しているが、減免や分納など市民に寄り添った対応を ▶特別交付税を活かして茶の花号の増便を ▶保育所待機児童が192名と増えている。旧幼稚園跡地などを活用し早期解消を ▶身体をはじめ、知的、精神、聴覚などさまざまな障害者の雇用拡大を ▶就学援助制度の品目拡大(PTA会費・クラブ活動費)で、子どもの学びを応援する市政に ▶奨学金の新規貸付件数が9件と前年度の23件を大幅に下回った。早急に要綱の見直しを ▶土砂災害警戒区域に317世帯が住んでいるのに、防止工事の進捗率は11.7%。早急な対策と「防災ラジオ」の導入を ▶老人福祉センター3館は改修し更なる活用を